

# 広野町「オリンピックを喜びつつ 応援プロジェクト」

## 国際色豊かな学校給食の献立



11月と12月の学校給食で提供された外国の献立

- | 11月   |                    | 12月                      |                              |
|-------|--------------------|--------------------------|------------------------------|
| 献立の内容 | ・ユーリンチー<br>・春雨卵スープ | ・中華サラダ<br>・ひとくちトマトライチゼリー | 献立の内容                        |
|       |                    |                          | ・チーズダッカルビ焼き<br>・キムチチゲ        |
|       |                    |                          | ・もやしのナムル<br>・新米ごはん(広野産コシヒカリ) |

先月号で表彰者を紹介しました「一族一運動コンクール」。夏休み中に次代を担う児童・生徒が、オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、参加国の文化やスポーツについて学び、世界に目を向けるきっかけにつなげられるようにするため実施したものです。

広野小学校の岡田真樹栄養教諭と広野町共同調理場の職員の皆様のご協力により、広野小学校と広野中学校では、11月より「町長賞」に選ばれた作品の国のメニューが提供されています。

11月は、6年生の伊原希美さんの調べた国「中華人民共和国」、12月は1年生の坂本悠友くんが調べた国「大韓民国」それぞれの料理が提供されました。子どもたちは日頃提供される給食のメニューと比べたり、その国ならではの食材や味付けを感じたりしながら、楽しい給食の時間を過ごしていました。

なお、1月と2月にも国際色豊かなオリジナルメニューが提供される予定です。

### 【栄養教諭と6年生の子どもたちの会話より】

- 子ども：「今日の献立に、コーンが入っている。」  
 栄養教諭：「イメージと合わないかな？中国でも、とうもろこしを食べますよ。」  
 子ども：「先生、中国では、お米の代わりにとうもろこしを栽培しているんじゃない？」  
 栄養教諭：「どうしてそう思うの？」  
 子ども：「中国の寒いところとか？山とか？は、お米が育たないから！」

※給食の献立と外国の風土や気候を関連付けて考えているすばらしい姿ですね！

日本食との違いを比べながらおいしく給食を食べる子どもたち

# 広野町復興の歩み

## 地域の課題解決への取り組み

### JR広野駅ホームのバリアフリー化工事

平成30年6月18日、広野町はJR東日本水戸支社と広野駅周辺の整備に向けた基本協定を締結し、整備事業を進めてきました。令和元年12月中旬には、駅ホームと車両の段差解消を図ることを目的とした駅ホームのバリアフリー化工事が完成しました。今後は、未来のかけ橋と駅構内の跨線橋にエレベーターを設置し、より利用者の皆様に寄り添った駅として整備します。



完成したJR広野駅ホームのバリアフリー化

### 広野駅東側第2期開発(住宅用地)整備事業

平成31年4月23日、広野町はパナソニックホームズ㈱と広野駅東側第2期開発(住宅用地)整備事業の推進に関する協定を締結し、戦略的に若い世代の転出抑制策や流入促進策として57区画住宅地整備に向けて取り組んでいます。また、宅地開発に伴い、利便性および安全性の向上を図るため、町道広長・久保田線道路新設舗装工事を急ピッチで進めています。



住宅整備予定地と町道広長・久保田線道路新設舗装工事の様子

### 常磐自動車道4車線化事業(いわき中央インターから広野インター間)

NEXCO東日本が常磐自動車道の機能強化促進として平成28年6月から、いわき中央インターから広野インター間の4車線化が進められています。橋脚などの下部工の施工が終わり、現時点では、橋桁など上部工の施工が行われており、令和3年3月末完成を目指しています。



常磐自動車道4車線化(いわき中央インターから広野インター間)事業(上北迫地内の工事の様子)9月25日撮影